

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P3	位置図内に「四十九駅」を追加	P3	(追加)
P4	2区域 区域の考え方 本文12行目に追加 「また、当該区域は伊賀市立地適正化計画の都市機能誘導区域と同じ区域となっています。」	P4	(追加)
P7	閉店のため削除	P7	上野丸之内ローソン(コンビニ)
P10	歩行者・自転車通行量の推移(グラフ) R1年度データを追加	P10	歩行者・自転車通行量の推移(グラフ)
P11	コメリの名称変更に伴い「パワー」に変更 コメリ書房上野店の名称変更に伴い「パワー書房上野店」に変更 カーマホームセンター上野店閉店のため削除 スーパーヤオヒコ上野店閉店のため削除 参考「中心市街地エリア内店」を削除 出典月を7月時点から「12月時点」に変更	P11	中心市街地周辺の大型店舗分布図
P18	基本方針3 「市民・住民・来街者参加のまちづくり」に修正	P18	基本方針3 「まちの中心拠点や広場を活用した市民・住民・来街者参加のまちづくり」

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P19 ～ P28	資料全体を差し替える	P19 ～ P21	
P29	基本方針１・目標１・事業の視点２の４事業に 「道路美装化による歩行者空間整備事業」を追加	P22	基本方針１・目標１・事業の視点２の４事業
P29	基本方針１・目標１・事業の視点３に「子育て包括支援センター事業」と「ファミリー・サポート・センター事業」を追加	P22	基本方針１・目標１・事業の視点３の０事業
P29	基本方針２・目標２・事業の視点２の「道路美装化による歩行者空間整備事業（再掲）」に修正	P22	基本方針２・目標２・事業の視点２の「道路美装化による歩行者空間整備事業」
P29	基本方針３「市民・住民・来街者参加のまちづくり」に修正	P22	基本方針３「まちの中心拠点や広場を活用した市民・住民・来街者参加のまちづくり」
P29	基本方針３・目標３・事業の視点１の 「未来会議設立事業」「キッズいがぶら事業」を削除 「伊賀上野 NINJA フェスタ開催事業（再掲）」を追加	P22	基本方針３・目標３・事業の視点１の７事業
P29	基本方針３・目標３・事業の視点２に「町家情報システム整備及びコンサルタント事業（再掲）」を追加	P22	基本方針３・目標３・事業の視点２の０事業
P32	基本方針３「市民・住民・来街者参加のまちづくり」に修正	P25	基本方針３「まちの中心拠点や広場を活用した市民・住民・来街者参加のまちづくり」

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P34	起業者支援システム整備事業 【実施主体】上野商工会議所 【事業年度】平成27年度～ 起業希望者育成及び創業支援を実施する。 平成27年度から伊賀流創業応援忍者隊創業支援を行っている。 創業者のさまざまな課題を解決するために、各関係機関と連携し支援を行う。 現在、伊賀流創業応援忍者隊にて、<u>ワンストップ</u>窓口相談、創業スクール、経営・資金調達に課する、各種専門相談などの支援を実施する。	P26	起業者支援システム整備事業 【実施主体】上野商工会議所 【事業年度】年度～ 起業希望者育成及び開業支援を実施する。 平成27年度から伊賀流創業応援忍者隊創業支援を行っている。 創業者のさまざまな課題を解決するために、各関係機関と連携し支援を行う。 現在、伊賀流創業応援忍者隊にて、<u>ワンストップ</u>°窓口相談、創業スクール、経営・資金調達に課する、各種専門相談などの支援を実施する。
P34	商業集積再生事業 【実施主体】㈱まちづくり伊賀上野 【事業年度】平成21年度～ 空家を街なみに調和するファサード整備とともにテナントミックス施設を整備し、伊賀の特色を生かしたテナントの導入により魅力と集客力のある店の創出を図る。 <u>また、空家を利用して「チャレンジショップ」の実施に取り組む。</u>	P26	商業集積再生事業 【実施主体】㈱まちづくり伊賀上野 【事業年度】年度～ 空家を街なみに調和するファサード整備とともにテナントミックス施設を整備し、伊賀の特色を生かしたテナントの導入により魅力と集客力のある店の創出を図る。
P35	町家情報システム整備及びコンサルタント事業 【実施主体】伊賀市中心市街地活性化協議会・㈱まちづくり伊賀上野・上野商工会議所・伊賀上野商店会連合会 【事業年度】令和2年度～ 空店舗率の減少と、新規出店数の増加を目的に、中心市街地における古民家等再生活用事業（城下町ホテル事業）との連携を図り、地元住民や商店会、各種団体とのパイプ役として情報共有を図り、協働してまちの賑わいと地域経済の再生に向けた事業として取り組む。	P27	町家情報システム整備及びコンサルタント事業 【実施主体】㈱まちづくり伊賀上野、上野商工会議所、伊賀上野商店会連合会 【事業年度】年度～ 空店舗率の減少と、新規出店数の増加を目的に、中心市街地における古民家等再生活用事業（城下町ホテル事業）との連携を図り、地元住民や商店会、各種団体とのパイプ役として情報共有を図り、協働してまちの賑わいと地域経済の再生に向けた事業として取り組む。

	・空店舗の持ち主に対し活用意向を確認し、伊賀市町家情報に登録を勧め、創業・起業希望者へ空店舗情報の提供を行い空店舗解消に努める。 ・商売をされている方に、将来の経営展望についての聞き取りをカルテにまとめる。(随時更新) ・閉店を考えている店舗所有者に対し、空店舗にならないように随時相談に応じる。 ・空店舗情報提供と<u>新規出店を誘致する。</u>		・空店舗の持ち主に対し活用意向を確認し、伊賀市町家情報に登録を勧め、創業・起業希望者へ空店舗情報の提供を行い空店舗解消に努める。 ・商売をされている方に、将来の経営展望についての聞き取りをカルテにまとめる。(随時更新) ・閉店を考えている店舗所有者に対し、空店舗にならないように随時相談に応じる。 ・空店舗情報提供と<u>新規出店誘致。</u>
頁(新)	新	頁(旧)	旧
P36	まちなか物件把握オーナー意識調査事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>平成28年度～</u> 計画区域内の空家等の実態調査及び所有者等の活用意向調査を行う。 第2期伊賀市空家等対策計画策定に向けた市内空家等の継続調査及び店舗、工場、事務所、事業所等の実態調査及び所有法人等への意向調査及び市場調査等を行う。	P28	まちなか物件把握オーナー意識調査事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>年度</u> 計画区域内の空家等の実態調査及び所有者等の活用意向調査を行う。 第2期伊賀市空家等対策計画策定に向けた市内空家等の継続調査及び店舗、工場、事務所、事業所等の実態調査及び所有法人等への意向調査及び市場調査等を行う。
P36	古民家等再生活活用事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>令和元年度～</u> 民間ノウハウを活用した空家対策事業（城下町ホテル事業） 豊富な歴史文化資源や空家を活用し、城下町全体に「日本の歴史文化」を体感できる観光関連施設や住民がより楽しく過ごすための施設を分散型で点在させることで、城下町内の回遊性及び魅力を高めることを目的とした事業を行う。	P28	古民家等再生活活用事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>年度</u> 民間ノウハウを活用した空家対策事業（城下町ホテル事業） 豊富な歴史文化資源や空家を活用し、城下町全体に「日本の歴史文化」を体感できる観光関連施設や住民がより楽しく過ごすための施設を分散型で点在させることで、城下町内の回遊性及び魅力を高めることを目的とした事業を行う。

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P36	町家等修理修景事業及び助成事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】平成20年度～ 城下町の風景を保存する目的で、伊賀街道・大和街道沿線及び寺町地区景観計画指定地域内の優れた景観形成に寄与すると認められる建築物等に、費用の一部を助成する。	P28	町家等修理修景事業及び助成事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】年度～ 城下町の風景を保存する目的で、伊賀街道・大和街道沿線及び寺町地区景観計画指定地域内の優れた景観形成に寄与すると認められる建築物等に、費用の一部を助成する。
P36	道路美装化による歩行者空間整備事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】平成20年度～令和3年度 歴史的なまちなみに調和したカラー舗装などの道路整備を行い、来街者や市民が歩いて楽しくなる空間づくりによりまちなかの回遊性向上を図る。 平成10年度～平成12年度に実施された上野市ウォーキングトレイル事業による道路美装化事業に続き、平成20年度から街なみ環境整備事業（平成21年度～まちづくり交付金、平成23年度～社会資本整備総合交付金対象事業）により道路美装化事業を実施しており、平成21年度～平成30年度の間で総延長3,272mを実施した。	P28	道路美装化による歩行者空間整備事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】年度～ 歴史的なまちなみに調和したカラー舗装などの道路整備を行い、来街者や市民が歩いて楽しくなる空間づくりによりまちなかの回遊性向上を図る。 平成10年度～平成12年度に実施された上野市ウォーキングトレイル事業による道路美装化事業に続き、平成20年度から街なみ環境整備事業（平成21年度～まちづくり交付金、平成23年度～社会資本整備総合交付金対象事業）により道路美装化事業を実施しており、平成21年度～平成30年度の間で総延長3,272mを実施した。

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P37	子育て包括支援センター事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】平成24年度～ 伊賀市に住所を有する未就学児とその保護者等を対象とし、ハイトピア伊賀4階の交流広場を開放する。また、子育て支援に寄与する各種教室を開催し、子育ての不安解消や子育て支援に係る相談等を実施している。開所日は月曜日～金曜日と第3土曜日の午前9時から午後5時まで。 令和元年度からは子育て支援団体と連携して、毎月1回「土曜ふれあい広場」を実施し、休日にも子育て世帯どうしが交流できる事業に取り組んでいる。 今後は、更に民間団体と連携しながら各種教室や事業が魅力あるものとなるよう創意工夫に努めていく。	—	(新設)
P37	ファミリー・サポート・センター事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】平成17年度～ 子育てを助けて欲しい人（依頼会員）の要望に応じて、子育てのお手伝いができる人（提供会員）を紹介し、相互の信頼と了解の上で一時的に子どもを預かる有償ボランティアによる会員組織を支援し、援助活動の調整を実施する「ファミリー・サポート・センター」をハイトピア伊賀4階に設置している。 また、提供会員養成講習会や会員同士の交流会などの事業も実施している。	—	(新設)

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P38	忍者市プロジェクト事業 【実施主体】伊賀市・DMO 【事業年度】平成29年度～令和5年度 忍者市を積極的に発信していくため、SNS などネット媒体を活用した情報発信やターゲットやテーマを絞った誘客事業、忍者市を実感してもらえる受け入れ態勢整備を行っていくため、次の事業を進めます。 ① 忍者市創生プロジェクト ② 忍者・観光人材育成事業 ③ 忍者プロモーション及び案内機能の強化 ④ 忍者体験観光受け入れ環境整備事業	P29	忍者市プロジェクト事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】令和元年度～ ネット媒体情報発信事業とターゲット特化型プロモーション事業を開催する。忍びの里伊賀甲賀日本遺産事業は、多言語対応史跡説明板整備等のサイン整備や語り部・コンシェルジュを育成する。伊賀上野 NINJA フェスタでは、上野ふれあいプラザを会場に、伊賀DE 忍者博覧会を開催し、集客増を目指す。
P38	伊賀観光代理業の運営事業（着地型発信事業）DMO 【実施主体】（一社）伊賀上野観光協会 【事業年度】平成30年度～ 着地型観光を促進するため、DMO の事業主体となって、商業者、農業者、観光業者などと連携し、公益のみでなく収益を考えて行っていく。 （状況）職員が旅行業の資格取得を目指しているおり、取得できれば旅行全般の手配ができ観光客を募集できる。新規事業について、DMO 登録認定を目指し地元着地型観光を目指す。DMO で観光案内の一元化を目指す。 （今後の取組み）令和元年度資格・DMO 登録認定を目指す。認定後事業は協議していく。	P29	伊賀観光代理業の運営事業（着地型発信事業）DMO 【実施主体】（一社）伊賀上野観光協会 【事業年度】年度～ 着地型観光を促進するため、DMO の事業主体となって、商業者、農業者、観光業者などと連携し、公益のみでなく収益を考えて行っていく。 （状況）職員が旅行業の資格取得を目指しているおり、取得できれば旅行全般の手配ができ観光客を募集できる。新規事業について、DMO 登録認定を目指し地元着地型観光を目指す。DMO で観光案内の一元化を目指す。 （今後の取組み）令和元年度資格・DMO 登録認定を目指す。 認定後事業は協議していく。

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P39	伊賀流情報発信充実事業 【実施主体】(一社)伊賀上野観光協会 【事業年度】平成19年度～ 伊賀のみが目的での観光客が少ないので、もっと滞在時間が長くなるような情報提供が必要であるため取り組みを行う。 観光情報の充実及び新しい技術を活用した情報発信を行う。 また、伊賀の着地型観光を促進するため、インターネットなどを活用したツーリストとダイレクトにつながる観光商品の造成を行う。	P30	伊賀流情報発信充実事業 【実施主体】伊賀上野観光協会 【事業年度】年度～ 観光情報の充実及び新しい技術を活用した情報発信を行う。 伊賀の着地型観光を促進するため、インターネットなどを活用したツーリストとダイレクトにつながる観光代理業の運営を行う。インターネットなどを活用したツーリストとダイレクトにつながる観光代理業の運営を継続し、伊賀のみが目的での観光客が少ないので、もっと滞在時間が長くなるような情報提供が必要であるため取り組みを行う。
P39	伊賀上野NINJAフェスタ開催事業 【実施主体】NINJA フェスタ実行委員会 【事業年度】平成15年度～ 本市の地域資源である忍者を利用したイベントを開催し、市民や来街者のまちなか回遊を図る。また、情報発信に積極的に取り組む。	P30	伊賀上野NINJAフェスタ開催事業 【実施主体】NINJA フェスタ実行委員会 【事業年度】年度～ 本市の地域資源である忍者を利用したイベントを開催し、市民や来街者のまちなか回遊を図る。 NINJA フェスタ開催期間中は、空き店舗等を活用した様々な忍者道場や出店があり、市民や来街者が忍者衣装に変身し、まちなかを散策する。
P39	まちなか回遊事業(通年メニュー化) 【実施主体】(一社)伊賀上野観光協会 【事業年度】平成20年度～ 観光客が中心市街地北側に集中している現状を踏まえ、市街地へ回遊の向上を図るために必要な事業を行う。 NINJA フェスタ期間外でも、通年で観光客に楽しんでもらえる受	P30	まちなか回遊事業(通年メニュー化) 【実施主体】(一社)伊賀上野観光協会 【事業年度】年度～ 観光客が中心市街地北側に集中している現状を踏まえ、市街地へ回遊の向上を図るために必要な事業を行う。 NINJA フェスタ期間外でも、観光客に通年で楽しんでもらえる受

	け入れ態勢を整え、伊賀市・お店のファンづくりのためのまちなか回遊事業を行う。		け入れ態勢を整え、伊賀市・お店のファンづくりのためのまちなか回遊事業を行う。
頁(新)	新	頁(旧)	旧
P40	古民家等再生活用事業（再掲） 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>令和元年度～</u> 民間ノウハウを活用した空家対策事業（城下町ホテル事業） 豊富な歴史文化資源や空家を活用し、城下町全体に「日本の歴史文化」を体感できる観光関連施設や住民がより楽しく過ごすための施設を分散型で点在させることで、城下町内の回遊性及び魅力を高めることを目的とした事業を行う。	P31	古民家等再生活用事業（再掲） 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>年度～</u> 民間ノウハウを活用した空家対策事業（城下町ホテル事業） 豊富な歴史文化資源や空家を活用し、城下町全体に「日本の歴史文化」を体感できる観光関連施設や住民がより楽しく過ごすための施設を分散型で点在させることで、城下町内の回遊性及び魅力を高めることを目的とした事業を行う。
P40	道路美装化による歩行者空間整備事業（再掲） 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>平成20年度～令和3年度</u> 歴史的なまちなみに調和したカラー舗装などの道路整備を行い、来街者や市民が歩いて楽しくなる空間づくりによりまちなかの回遊性向上を図る。 平成10年度～平成12年度に実施された上野市ウォーキングトレイル事業による道路美装化事業に続き、平成20年度から街なみ環境整備事業（平成21年度～まちづくり交付金、平成23年度～社会資本整備総合交付金対象事業）により道路美装化事業を実施しており、平成21年度～平成30年度の間で総延長3,272mを実施した。	P31	道路美装化による歩行者空間整備事業（再掲） 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>年度～</u> 歴史的なまちなみに調和したカラー舗装などの道路整備を行い、来街者や市民が歩いて楽しくなる空間づくりによりまちなかの回遊性向上を図る。 平成10年度～平成12年度に実施された上野市ウォーキングトレイル事業による道路美装化事業に続き、平成20年度から街なみ環境整備事業（平成21年度～まちづくり交付金、平成23年度～社会資本整備総合交付金対象事業）により道路美装化事業を実施しており、平成21年度～平成30年度の間で総延長3,272mを実施した。

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P40	まち巡り拠点施設整備事業（成瀬平馬家活用事業） 【実施主体】伊賀市 【事業年度】平成24年度～令和4年度 成瀬平馬家は上野市駅・ハイトピア伊賀に隣接しており、立地条件からまち巡り拠点として敷地内の整備を行う。<u>（削除）</u>	P31	まち巡り拠点施設整備事業（成瀬平馬家活用事業） 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>年度～</u> 成瀬平馬家は上野市駅・ハイトピア伊賀に隣接しており、立地条件からまち巡り拠点として敷地内の整備を行う<u>予定である。敷地の活用方法については、今後検討を行う必要がある。</u>
P41	芭蕉翁生家整備事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】平成30年度～令和3年度 老朽化した建物の改修整備を行い、松尾芭蕉ゆかりの建物として、また江戸後期の伊賀の町家の雰囲気味わってもらえる施設として一般公開する。天神宮に近く、徒歩での移動が簡単に出来ることから、市民をはじめ観光客も入館しやすく、興味がわく施設に整備する。また、俳句の句会などを行い、市民に親しまれる施設となるよう整備後のイベントの検討を進める。	P32	芭蕉翁生家整備事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】<u>年度～</u> 老朽化した建物の改修整備を行い、松尾芭蕉ゆかりの建物として、また江戸後期の伊賀の町家の雰囲気味わってもらえる施設として一般公開する。天神宮に近く、徒歩での移動が簡単に出来ることから、市民をはじめ観光客も入館しやすく、興味がわく施設に整備する。また、俳句の句会などを行い、市民に親しまれる施設となるよう整備後のイベントの検討を進める。
P41	周遊性向上事業 【実施主体】伊賀鉄道㈱ 【事業年度】平成19年度～ 伊賀鉄道利用者の利便性を図ることで、伊賀鉄道の利用者数を向上させ、伊賀鉄道活性化事業と連携し、中心市街地の4つの駅（西大手、上野市、広小路、茅町）での乗降者数を増加させるため「誰もが1日乗り放題のきっぷ販売事業」を実施。 ・【フリー切符】 「1日フリー乗車券」は、規程区間の乗車であれば割安になるので、主に観光客に販売している。	P32	周遊性向上事業 【実施主体】伊賀鉄道㈱ 【事業年度】<u>年度～</u> 伊賀鉄道利用者の利便性を図ることで、伊賀鉄道の利用者数を向上させ、伊賀鉄道活性化事業と連携し、中心市街地の4つの駅（西大手、上野市、広小路、茅町）での乗降者数を増加させるため「誰もが1日乗り放題のきっぷ販売事業」を実施。 ・【フリー切符】 「1日フリー乗車券」は、規程区間の乗車であれば割安になるので、主に観光客に販売している。

	「忍にんフリーきっぷ」は、NINJA フェスタ期間中「西大手～茅町」区間であれば一日乗り放題。 ・NINJA フェスタ期間「西大手～茅町」区間であれば、忍者衣装を着けている人は無料乗車できる。 ・「エコロジーバス」（１年間定期）の販売。 ・駅を降りてから第２次交通がないので、茅町駅には無料レンタル自転車３台設置。 ・「スイーツ列車・伊賀線まつり・ハイキングイベント」等の集客事業を実施する。		「忍にんフリーきっぷ」は、NINJA フェスタ期間中「西大手～茅町」区間であれば一日乗り放題。 ・NINJA フェスタ期間「西大手～茅町」区間であれば、忍者衣装を着けている人は無料乗車できる。 ・「エコロジーバス」（１年間定期）の販売。 ・駅を降りてから第２次交通がないので、茅町駅には無料レンタル自転車３台設置。 ・「スイーツ列車・伊賀線まつり・ハイキングイベント」等の集客事業を実施する。
頁(新)	新	頁(旧)	旧
P42	観光客向け目的別マップ作成事業 【実施主体】<u>伊賀市中心市街地活性化協議会・㈱まちづくり伊賀上野・(一社)伊賀上野観光協会</u> 【事業年度】令和元年度～ 観光客のために手軽で見やすく手に持ちやすい目的に応じたマップ作成を行う。 ① 飲食昼のお店マップ ② 飲食夜のお店マップ（宿泊ビジネス） <u>（削除）</u> <u>（削除）</u> ③ テーマごとマップ 【宿泊者向け 夜マップ】 <u>おすすめ食事マップの作成</u> 【テーマごとマップ】 <u>テーマ別マップの作成</u>	P33	観光客向け目的別マップ作成事業 【実施主体】<u>(一社)伊賀上野観光協会、㈱まちづくり伊賀上野</u> 【事業年度】令和元年度～ 観光客のために手軽で見やすく手に持ちやすい目的に応じたマップ作成を行う。 ①飲食昼のお店マップ ②飲食夜のお店マップ（宿泊ビジネス） ③<u>忍者マップ</u> ④<u>芭蕉マップ</u> ⑤テーマごとマップ 【宿泊者向け 夜マップ】 <u>おすすめ食事マップを作成する。</u> 【忍者・芭蕉マップ】 <u>目的別のマップを作成する。</u>

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P42	プレイヤー誘致事業 【実施主体】伊賀市中心市街地活性化協議会・(株)まちづくり伊賀上野・上野商工会議所 【事業年度】令和元年度～ 意欲的なプレイヤーの誘致を行うため、勉強会や体験事業を実施する。 ① チャレンジショップ開設の推進 ② 商品開発の推進 ③ 民泊の推進 ④ NIPPONIA モデルとの連携 ⑤ 進行管理など意見交換 ⑥ テーマを決め協議検討	P33	プレイヤー誘致事業 【実施主体】上野商工会議所・(株)まちづくり伊賀上野 【事業年度】令和元年度～ 意欲的なプレイヤーの誘致を行う。 ①チャレンジショップ開設 ②カフェ勉強会 ③工芸を軸としたまちづくり ④文化薫る工芸アート ⑤民泊の推進 ⑥NIPPONIA モデルとの連携 ⑦伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」 ⑧ダンジリの曳き手
P42	あいそのないのはあきません事業 【実施主体】伊賀市中心市街地活性化協議会・上野商工会議所 【事業年度】令和元年度～ 国内外の方々に向けて、魅力ある店舗の創出といった受け皿づくりや、積極的な情報発信、店舗PRを行っていく。 事業者等に対するおもてなし勉強会や魅力向上セミナー、並びに個別の支援の実施 ① インバウンドにも対応した市内散策マップ ② 個別事業所への電子媒体の活用やブラッシュアップ支援 ③ おもてなし勉強会や魅力向上セミナー	P33	あいそのないのはあきません事業 【実施主体】上野商工会議所 【事業年度】令和元年度 魅力のある店舗の創出といった受け皿づくりや、積極的な情報発信、また積極的な店舗PRを行っていく。 事業者等に対するセミナーや個別の支援等の実施を行う。 ①おもてなし勉強会や向上セミナー ②ハンドブック作成 ③インバウンド対応 ④おもてなしグループの立上げ
P43	ライトアップイベント「お城のまわり」開催事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】平成28年度～ 上野公園内とその周辺にある歴史的建物等をライトアップし、市	P34	ライトアップイベント「お城のまわり」開催事業 【実施主体】伊賀市 【事業年度】年度～ 上野公園内とその周辺にある歴史的建物等をライトアップし、市民

	民のみならずお盆にあわせて帰郷される方にも、伊賀のすばらしさを再発見してもらうとともに伊賀の魅力を発信してもらうため毎年お盆の時期にイベントを開催する。		のみならずお盆にあわせて帰郷される方にも、伊賀のすばらしさを再発見してもらうとともに伊賀の魅力を発信してもらうため毎年お盆の時期にイベントを開催する。
頁(新)	新	頁(旧)	旧
—	(削除) ⇒プレイヤー誘致事業と統合	P34	未来会議設立事業 【実施主体】 伊賀市中心市街地活性化協議会 【事業年度】 令和元年度～ <u>まちづくりに関して若者の意見を積極的に取り入れ、具体的な事業提案があれば事業展開ができるよう進めていく。</u> ① <u>進行管理など意見交換の場とする。</u> ② <u>テーマを決め協議検討する。</u> ③ <u>「伊賀市若者会議」との連携を行う。</u> <u>令和元年 進行管理 PJ 会議実施</u>
P43	伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」 【実施主体】 いがぶら実行委員会 【事業年度】 <u>平成26年度～</u> <u>「伊賀をぶらりと体験する小さな旅」伊賀の魅力を発信する着地型観光イベント</u> <u>伊賀がおもしろいを増やしていく多彩な体験メニュー</u> ① <u>春季は伊賀上野・城下町のお雛さんとのコラボ「ひなぶら」</u> ② <u>夏季は夏休み期間しか体験できない「キッズいがぶら」</u> ③ <u>秋季は魅力溢れる伊賀を体験「いがぶら」を開催。</u> <u>体験メニューの通年化を目指し、魅力満載の着地型観光に向け取り組み。</u>	P34	伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」 【実施主体】 いがぶら実行委員会 <u>(追加)</u> <u>着地型観光を推進することを目的に観光客の受け入れ事業主体「パートナー」を全市的に発掘・育成する。平成30年秋季のいがぶらの体験メニューは127個。参加者は2,200人の86%が女性であり、参加者の36%が伊賀市外からの参加者である。春季には、伊賀上野・城下町ひなさんとコラボした「ひなぶら」を開催。新たに夏季の「キッズいがぶら」の開催が決まっている。今後は、体験メニューの通年化に取り組むなど、市民の魅力の再開発と市外からの魅力発見に焦点を当てる。</u>

頁(新)	新	頁(旧)	旧
—	(削除) ⇒伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」と統合	P35	キッズいがぶら事業 【実施主体】 いがぶら実行委員会 【事業年度】 令和元年度～ <u>魅力あふれる伊賀をこども向けに発信し根付かせるため、伊賀ぶらり体験博覧会「キッズいがぶら」を実施する。</u>
P43	「まちなか市」開催事業 【実施主体】 ㈱まちづくり伊賀上野・ダーコラボトリLLP 【事業年度】 平成20年度～ <u>伊賀風土FOODマーケットを毎月第2日曜日開催。</u> <u>マーケットを通じて出店者の交流の場、また、新たに事業を考えている方のチャレンジの場となり、伊賀の食文化の発信や魅力度のアップを図る。</u>	P35	「まちなか市」開催事業 【実施主体】 ㈱まちづくり伊賀上野・ダーコラボトリLLP (追加) <u>伊賀風土FOODマーケットを毎月第2日曜日開催する。</u> <u>約1,500人の参加者が定期的にまちなかに集まる「伊賀風土FOODマーケット」を開催し、伊賀の食文化の発信や魅力度のアップを図る。</u>
P44	市民夏のにぎわいフェスタ開催事業 【実施主体】 市民夏のにぎわいフェスタ実施委員会 【事業年度】 平成20年度～ 銀座通り、本町通りを会場に楽市、楽座の開催 市民団体、企業を中心に広く市外からも参加があり、8月の一日に約5万人でにぎわうイベントである。 商業の担い手となる商店街の若手後継者が実働スタッフとして活発な活動を行うことで交流が深まり、また、消費者の動向をみる良い機会となる。 中心市街地の賑わい創出という課題に対して、大型店にはない商店街独特のイベント事業(商店街を舞台にした市民参加型の祭り)で中心市街地の活性化を図る。	P35	市民夏のにぎわいフェスタ開催事業 【実施主体】 市民夏のにぎわいフェスタ実施委員会 (追加) 銀座通り、本町通りを会場に楽市、楽座の開催 市民団体、企業を中心に広く市外からも参加いただき、8月の一日に約5万人でにぎわうイベントである。 商業の担い手となる商店街の若手後継者が実働スタッフとして活発な活動を行うことで交流が深まり、また、消費者の動向をみる良い機会となる。 中心市街地の賑わい創出という課題に対して、大型店にはない商店街独特のイベント事業(商店街を舞台にした市民参加型の祭り)で中心市街地の活性化を図る。

頁(新)	新	頁(旧)	旧
P44	伊賀上野NINJAフェスタ開催事業（再掲） 【実施主体】NINJA フェスタ実行委員会 【事業年度】平成15年度～ 本市の地域資源である忍者を利用したイベントを開催し、市民や来街者のまちなか回遊を図る。また、情報発信に積極的に取り組む。	—	(新設)
P45	町家情報システム整備及びコンサルタント事業（再掲） 【実施主体】伊賀市中心市街地活性化協議会・㈱まちづくり伊賀上野・上野商工会議所・伊賀上野商店会連合会 【事業年度】令和2年度～ 空店舗率の減少と、新規出店数の増加を目的に、中心市街地における古民家等再生活用事業（城下町ホテル事業）との連携を図り、地元住民や商店会、各種団体とのパイプ役として情報共有を図り、協働してまちの賑わいと地域経済の再生に向けた事業として取り組む。 ・空店舗の持ち主に対し活用意向を確認し、伊賀市町家情報に登録を勧め、創業・起業希望者へ空店舗情報の提供を行い空店舗解消に努める。 ・商売をされている方に、将来の経営展望についての聞き取りをカルテにまとめる。(随時更新) ・閉店を考えている店舗所有者に対し、空店舗にならないように随時相談に応じる。 ・空店舗情報提供と新規出店を誘致する。	—	(新設)